

FREE

ご自由にお持ちください。

No.820  
2022 January

1

岐阜県の森林・林業

も り  
森林のたより



News of the forest



森林文化アカデミー創立20周年 及び  
森林総合教育センター (morinos) 開所1周年記念式典



涌井学長、熊崎元学長 (web出演)、篠田前学長、知事によるトークセッション



はだしの広場のお披露目



ヴァルトカーのお披露目

●詳細は4ページをご覧ください。



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

http://www.g-forestry.or.jp (公社) 岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込（問合せ）先／TEL
2月16日(水)	第10回緑豊かな清流の国ぎぶづくり県民フォーラム	<p>緑豊かな清流の国ぎぶづくり県民フォーラムを開催します。</p> <p>●内容：基調講演、「ぎぶ 森のようちえん」アワード表彰式、第3期清流の国ぎぶ森林・環境税事業紹介</p> <p>●参加料：無料</p> <p>※事前に申込みが必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。</p>	<p>岐阜県図書館 多目的ホール (岐阜市宇佐 4-2-1)</p> <hr/> <p>恵みの森づくり推進課 TEL 058-272-8472</p>



表紙●詳細は4ページをご覧ください。

目次 Contents

イベントカレンダー（一般向け）……………2

新年のご挨拶（公社）岐阜県山林協会 会長 日置敏明……………3

年頭のご挨拶 岐阜県 林政部長 高井峰好……………3

岐阜県立森林文化アカデミー創立二十周年及び  
森林総合教育センター(morinos)開所一周年記念式典開催……………4

山の歳時記(19) ナンテン……………5

山のおしやまむし(366) — 楽しんで気持ちがいい、キリギリス！……………6

清流の国ぎぶ 森と水を巡る旅……………7

ぎぶ木遊館通信……………8

morinosプログラム紹介!!……………9

シリーズ「住民主体の創意工夫ある森づくり・川づくり活動」……………10

木の香るぎぶの施設(106)……………11

住ま居るグループサービス(通常規模型通所介護)……………11

森林と人を活かす知恵(108)……………12

新米猟師にオススヌワな猟×〇〇調査リソース管理を兼ねて〜  
シリーズ「森林・環境税」で緑豊かな清流の国ぎぶづくり(9)……………13

地域の人の新規参入した若い力!!……………14

研究コーナー……………15

衛星画像を使って伐採等の森林の変化を抽出する取り組み……………15

普及コーナー……………16

第58回岐阜県林業経営コンクール 最優秀表彰者について……………16

スマート林業通信(9) ぎぶ森林情報WebMAPを公開……………17

国有林の現場から(63)こんなところにも国有林3……………18

林業者向けお知らせ……………19

市況……………20

# 新年のご挨拶

(公社)岐阜県山林協会 会長 日置 敏明

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年発生し日本全国に猛威をふるった新型コロナウイルス感染症も、ワクチン接種が進むにつれ全国の新規感染者数や重症者数が減少し、新規感染者数は二百人を切るまでになるなど新型コロナウイルス感染症克服への道筋が見えてきています。私たちが元の生活を取り戻す方向に向けて一層の努力が必要であると感じています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症によるコロナ禍により、輸入する外材製品の不足により国産材需要が増加し国産材製品価格、原木価格の高騰といういわゆる「ウッドショック」が発生しました。「ウッドショック」は原木価格の上昇により山側に利益をもたらしますが、この状況が長引けば、住宅部材が木材から鉄、コンクリートなどに変わっていき、その結果木材需要が落ち込み山側に悪影響が出るのが懸念されます。従って、木材需要の急激な変化に対応出来る原木の安定的な供給量の確保体制を早急に整備していくことが、森林・林業・林産業における重要な課題であると考えます。こういった中、昨年の県の6月議会で、知事から、このウッドショックへの対応として、原木供給量の増やすために林業事業者に対し間伐から皆伐へのシフトを働きかけること、木材生産技術者、伐採事業地の確保に向けての新規就業者の確保対策及び木材生産林での境界の明確化、木材需要に柔軟に対応出来る体制整備のため林業のDX化に取り組むことなど三点の具体的な対策の考え方が示されました。早期の実現に大きな期待をしています。

平成三十年四月に開始された、適切な経営管理が行われていない森林の整備を市町村が主体となつて行う新たな森林管理システム「森林経営管理制度」に関して、県が、昨年十月に、市

町村支援強化のため、市町村支援の総合窓口となる「地域森林管理支援センター」を岐阜県森林組合連合会内に開設しました。このセンターは、市町村からの相談対応、制度運用上の課題に関する弁護士等専門家による市町村相談会の開催、市町村への岐阜県地域森林管理士の派遣に関する調整を業務としています。市町村は森林管理に関する専門職員が少なく「森林経営管理制度」の運用に少なからず不安がありました。このセンターの設置は大きな助けとなるもので、このセンターの運用開始により、適切な経営管理が行われていない森林の整備が一層推進されるものと期待しています。

昨年の八月豪雨により中津川市、恵那市を中心に県内で多くの山地災害が発生しました。岐阜県では、これまでも治山事業や森林整備事業の推進により「災害に強い森林づくり」が進められてきましたが、対策の一層の推進が不可欠であることが明らかとなりました。県土の八十一パーセントを森林が占める岐阜県においては、防災・減災対策の視点からの県民の安全・安心の確保のためには、治山事業や森林整備事業の推進による健全な森林づくりがその柱となることは言うまでもありません。当協会といえども、国や県に対する制度や予算の充実の要請等を通じて、防災・減災対策としての治山事業や間伐等の森林整備事業の推進に寄与してまいりたいと考えております。

森林づくりは、「親が植え、子が育て、孫が伐つて利用する」という三代にまたがる息の長い営みと言われています。当協会といえども、こういって森林づくりの基本を踏まえ、岐阜県の豊かな森林の生み出す多様な恵みを、一〇〇年先の県民も享受できるように、岐阜県の森林づくりと山村地域の活性化に取り組んでまいりまので、皆様の御支援を御願いたします。結びになりますが、今年一年の皆様のご多幸を祈念しご挨拶いたします。

# 年頭のご挨拶

岐阜県 林政部長 高井 峰好

明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、アメリカにおける木材需要の急増を端緒として、国産材の不足と価格高騰が生じ、いわゆる「ウッドショック」により、森林・林業・木材産業は様々な影響を受けました。木材価格の高騰は、山側にとつてはプラスとなりますが、急激な需要の増加に生産が追いつかず、また工務店におかれては、木材価格の上昇分を住宅価格に転嫁できず、負担が増えるといった課題も生じました。

「ウッドショック」の影響がいつまで続くのか先行きは不透明ですが、木材市場のグローバル化が進むなか、今後も起こり得る世界規模の木材需要の変動にも柔軟に対応可能な、県産材の生産、加工、流通体制の強化が必要と考えております。

8月の大雨では東濃地域と飛騨地域を中心に多くの被害が生じ、林業分野でも11箇所山地被害と91路線の林道被害が発生しました。改めて、被災された皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

近年、こうした異常気象による災害の激甚化・頻発化が続いており、県民の皆様への安全・安心な暮らしを支えるためには、治山事業の実施とともに森林が有する公益的機能を高める森林整備が必要です。また、政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル」を実現し、地球温暖化を防ぐためには、間伐や主伐・再造林を積極的に進め、森林を二酸化炭素の吸収源として育てていく必要があります。

一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や健康志向の高まりから、都市部での生活様式が見直され、自然を活かした野外活動などが注目されています。こうしたニーズを捉え、山村地域に雇用と収入の機会を生み出すため、森林空間を活用した新たな産業の育成にも取り組む必要があると考えております。

現在県では、令和4年度から令和8年度までを期間とする「第4期岐阜県森林づくり基本計画」の策定を進めているところです。計画策定にあたっては、社会情勢の変化やSDGsの達成に向けて森林・林業・木材産業が果たすべき役割を考慮するとともに、人口減少社会下における森林技術者の確保や、減少が見込まれる住宅建設に代わる新たな木材需要の創出など、様々な課題の解決に向け、今後必要となるあらゆる施策を検討し、反映してまいります。

また、昨年12月の第6回県議会定例会において、「清流の国ぎふ森林・環境税」を今後5年間継続することが決まりました。第4期森林づくり基本計画を実現するための貴重な財源の一つとして、効果的に活用させていただきたいと存じます。皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、本年が岐阜県の森林・林業・木材産業の飛躍の年となりますよう祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 岐阜県立森林文化アカデミー創立二十周年 及び 森林総合教育センター (morinos) 開所一周年

## 記念式典開催

岐阜県立森林文化アカデミー（以下、「アカデミー」）は「森林と人との共生」を基本理念とし、岐阜県の広大な森林と豊かな自然を実践の場として二十世紀の循環型社会を創る人材を育成するため、平成十三年度に開学した専修学校です。開学以来、多くの皆さまに支えられながら、無事、本年度で二十周年を迎えることができました。関係者の皆さまに感謝申し上げます。

さて、アカデミー創立二十周年を迎え、盛大に記念式典を開催したかったのですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本学に様々なご支援をいただいた方八十名ほどを招いて十月二十日（水）に記念式典を開催しました。記念トークセッションとして、歴代学長の熊崎実初代学長、篠田善彦2代学長、涌井学長（進行）、そして知事が出演し、「森林文化アカデミーのこれまでとこれから」とのお話をしていただきました。まず、「これまでのアカデミーの歩みを振り返って」として初代学長の熊崎氏は、残念ながらリモートでの



出演でしたが、開学準備から開学当初の想いを、また、篠田氏からは、地元美濃市との連携などアカデミー運営の想いを、知事からは全国育樹祭を通じて、アカデミーの取組への感想をいただきました。次に、「これから二十年をどのように歩んでいくべきか」として、熊崎氏からは、社会情勢の変化に対応したアカデミーの進むべき方向として「木のルネッサンス」についての話がありました。また、篠田氏からは、子供と木のふれあいは大切であり、全国的にアカデミーのような学校が必要となる時代になってくると話していただきました。また、知事からは、大きな課題に対して

森林の現場での実践者を育てることを通じて発信することでアカデミーの存在意義が出てくるのではないかと話していただきました。最後に涌井学長が、今までの『エコシステム』から『エコシステム』にするためには、濁点をどのように取ればいいのか、バックキャスト（未来のある時点で目標を設定しておき、そこから振り返って現在すべきことを考える方法。）で考える必要があると結びました。

なお、森林総合教育センター (morinos) の一周年記念式典も同時に行いました。清水建設株式会社様に「はだしの広場」を整備していただき、そのテーパーカットを、また、住友林業株式会社様から「ヴァルトカー」を贈呈していただき、そのお披露目も行いました。これらに関しては、morinos プログラム紹介!! で詳しく紹介しますので、そちらをご覧ください。



また、アカデミーでは、森林文化アカデミー創立二十周年記念事業として、卒業生や在校生にアンケートを実施、記念式典のほか、左記の事業を行っています。

- ① 卒業生の活躍…在校生が卒業生に取材し、卒業生の活躍をアカデミーのHPで紹介 (YouTube)
- ② 教員への取材…在校生が教員に取材し、Web配信
- ③ 既存の森林文化の授業の枠を広げて連続講座を実施 (卒業生のみ視聴可)
- ④ 未来の森づくり・演習林を活用して授業で計画・実践に携わり、学生と共に森づくりを実施

詳しいことは、アカデミーのHP (<https://www.forest.ac.jp/>) をご覧いただければ幸いです。



アカデミーの今までの卒業生は、森と木のエンジニア科366名、森と木のクリエーター科298名の合計664名で、県内就職率は、58%となっております。県内ばかりでなく、全国各地で活躍しています。

これからも、地域や社会のニーズに合った人材を育成し、社会に送り出していきたくと考えております。今後とも指導いただきますようお願いいたします。



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

郡上市八幡町安久田、ここには水上勉の「郡上の南天」にもあるように、山の斜面に多くのナンテンが生えていました。

ナンテン (*Nandina domestica*) は、茨城県以西の山野で見られるメギ科の常緑低木です。葉は三回奇数羽状複葉で、陰陽のいずれの地でも生育しますが、特に石灰岩地帯の半日陰地を好みます。

昔は祝いごとの度、重箱に入れた赤飯にナンテンの葉が載せ

られているのを目にしました。このナンテンの葉は単なる彩りでなく、葉に含まれる青酸の前駆物質ナンジニンが湯気で加水分解されるため腐敗防止に役立つのです。また、減多に食べられなかった赤飯を食べ過ぎてお腹がきつくなったら、ナンテンの葉を噛んで吐き出すことができたとも言われます。

ナンテンの葉は焼き魚など、食物の下に敷く搔敷(かいしき)に使ったり、お米を保存する米櫃(びつ)、罌を保管する罌櫃などに入れたり、生魚に中毒した時は解毒薬に、火傷やハチ刺されにも民間薬として利用されました。

冬季に採取して天日乾燥させた果実は「南天実」と呼ばれます。果実にはドメスチンや、イソコリンなどのアルカロイドが含まれ、知覚および運動神経、呼吸中枢に作用して、鎮咳、咳痰に効能があります。果実には赤色、白色、淡い紫色などがありますが、シロミ

ナンテンもフジミナンテンも、赤いナンテンと同じ効能があるそうです。

果実の中には二個の種子が入っており、冬になるとジヨウビタキ (*Phoenicurus aureus*) やヒヨドリ (*Hypsipetes amautus*) がよくついでみえます。しかしナンテンの果実には有毒なアルカロイドが含まれるため、鳥は少量しか食べず、何度もついでみに来るため、いろんな場所に種子が運ばれるのです。

ナンテン材の利用を考えると、南天箸が食あたりなどの諸毒を消し、長寿を祈願するとして好まれます。しかし市販されている南天箸のほとんどが、別名ナンテンギリの名でも呼ばれる落葉高木のイイギ



▲郡上市八幡町で飾られていた南天王

リ材なのです。

また臨済宗相国寺派の別格本山、京都鹿苑寺(通称金閣寺)の茶室、夕佳亭には曲木で名高い「南天の床柱」があります。これはナンテンが「難を転じる」「災難を避ける」につながると考えられたからです。昔の豪邸でもナンテンの床柱が使われ、門口や戸口、鬼門に植えられ、不浄を清めるとして手洗いの脇にも植えられました。最後にこのナンテンにあやかっ



# 山のおじまむし



## 一楽しくて気持ちがいい、キリギリスー【第366回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

前号でお話した孫たちが飼っているキリギリスは、その後も毎日きれいな声で鳴いている。この虫を捕まえたのは7月2日。今日は11月23日だから、季節をまたいで4か月以上も生きている。しかもキリギリスの寿命は2か月くらいなので驚くばかりだ。なぜ、これだけ長生きなのか。これは3人の孫が餌やり、飼育箱の掃除など行っているの、神様からのプレゼント。こんなことを思ってしまう。孫たちが飼育を始めた頃は、コロナ禍で外出が自粛で外で遊べなかった。退屈なのでその暇つぶしにキリギリスを飼ったのがはじまり。時間があるのでじっくり観察していた。「今日は大きな声で鳴いていたよ」、「悲しそうな鳴き声だったよ」、「暑い日は鳴かないよ」など孫たちが感じたことをいろいろ話してくれた。「本当。そんなことあったの。おじいちゃん知らなかったな」。こうした孫たちとの会話。至福のひと時であった。しかも、孫たちの話は、私の知らないことが多く、大変勉強になった。その後も孫たちはキリギリスの世話をしながら、楽しそうに観察していた。

× × × ×

しかし、同じことの繰り返し。そのうちにあぐんできたのだから。私への報告も少なくなった。一方、コロナの患者数はワクチンの効果が出てきたのか、10月になると大幅に減少。このため規制が緩くなり観光地や繁華街は人出が増えていった。同じように孫たちも友達と外で遊ぶようになった。学校から帰ると、すぐに外へ飛び出す。それから、宿題、テレビ、ゲームなどで時間がない。キリギリスの世話はいい加減になり、時には忘れることもあった。そのうちに見るに見かねて母親がするようになった。キリギリスにできるだけ長生きしてもらいたいからだという。私も数日おきに観察していたが、そのうちにあぐんできた。特に10月下旬ころから、秋篠宮眞子様様の結婚、衆議院選挙、岸田内閣誕生、瀬戸内寂聴の死去、大リーグ大谷選手の活躍などの大きなニュースが連日テレビやラジオで報道された。どれも興味があったのでこちらへ目が向き、キリギリスのことは忘れることもあった。これでは孫たちより始末の悪いおじいちゃんだ。自分でも笑えてきた。

× × × ×

ある日3年生のIちゃんが、「おじいちゃん、キリギリスは草の葉が好きなの。喜んで食べているよ」と知らせに来た。私はすぐ見に行った。たしかにバリバリ食べている。啞然とした。キリギリスは子供のころは小さな虫を食べているが、成虫になると大きな昆虫を襲い、餌が不足すると共食い始める獷猛な虫。草の葉は食べないと思っていたからである。私はIちゃんに「なぜ、

草をやったの」と尋ねた。「外で遊ぶ方が家の中より楽しいし、気持ちがいいから」とIちゃん。その時「家で飼っているキリギリスは、虫かごの中でじっとしているだけなので、可哀そうだと思ったの。それで草の葉をやれば喜ぶだろうと与えたの」と話を続けた。この優しい心。素晴らしい孫だと、胸が熱くなった。それにしても草の葉を思いついた発想力。驚いてしまう。私はこのことを母親に話し「Iちゃんはすごいな。あんなことを思いつくのだから」と言った。母親は「すごくはないよ。たまたま気分がよかったの、その気になっただけ。家では何もしないのだから」とおかんむり。私は笑えてきた。しかし、Iちゃんのこの行動。いろいろ考えさせられた。

× × × ×

私は今までにいろいろな昆虫を飼育してきた。目的は成虫にしてきれいな標本を作ること。観察日記などはほとんどつけていない。死亡すればゴミ箱へポイ捨てだった。ところが今回のキリギリスの飼育は、鳴き



▲キリギリス

声を聞きながら行動を観察することが目的。孫たちが世話をしたおかげで、いろいろなことを知ることができた。特に寿命。野外では2か月くらいなのに、飼育しているのは4か月以上も生きている。これには驚いた。これだけ長生きできたのだから、このキリギリスは幸せだと思った。しかし、Iちゃんの言葉で「本当にそうなのだろうか」と私の心が変わってきた。もしこのキリギリスが野外で生活したらどうだろう。広い草原で鳴きまくり、好きな餌を捕って食べ、メスと出会うと結婚する。そして子孫を残す。Iちゃんの言ったように「楽しくて、気持ちがいい」日々で、これだったら幸せだろう。しかし、自然界は厳しい。天候異変や鳥などの外敵、病気などで多くが死亡してしまい、天寿をまっとうできるものはごくわずか。運が悪ければ、数日間しか生きられないこともある。それでも幸せだろうか。いや違う。長生きしてこそ幸せなのだ。しかし、長生きできる保証はないなどと考えている時、キリギリスが鳴きだした。その鳴き声は弱々しく「これだけ長生きできて幸せだ。ありがとう」と言っているようであった。やはり、このキリギリスは幸せだ。間違いないと思った。あとわずか12月。キリギリスの体はやせ細り、動きは鈍く、見るからに弱々しい。あと何日生きられるかの段階だ。今は1日でも長く生きて天寿を全うしてほしいと願っている。



# 木と水と清流の国ぎふを巡る旅



納古山（七宗町）にて

## ■常若の光と影

珍しく雪に覆われた七宗町の納古山。曙光に木々に積もった雪が黄金色に煌めいた。息をつめるようにその一瞬の光景を見つめる。ふと振り返ると西の空は、淡い薄紫に染まり、まさに今、夜の帳から目覚めようとしていた。山際に近いあたりは紫が濃く、徐々にその色が薄まっていく。その濃い部分は、朝日を受けて地球の影が地球の大気層に映りこんだ「地球影」と呼ばれる現象だ。

【森林のたより編集担当】



# ぎふ木遊館通信



## 〈ぎふ木遊館オータムフェスタ〉

この号が出るころはすっかり冬ですが、秋深まりし11月20日・21日の2日間『オータムフェスタ』を開催し、いつもの遊びに加えて、特別なメニューを用意して楽しんでいただきました。

初日の木育ひろばでは、当館でも大人気のさるぼぼ型の積み木『つみぼぼ』の作り手であり、つみぼぼ名人でもある白百合工房（高山市）の上野さんが来館されました（右写真）。みんなで名人芸をまねしよう！という企画です。来館者の皆さんには妙技ともいえるその積み方にチャレンジして楽しんでいただきました。

上野さんも来館者のリアルな反応を見ることができて、今後の制作の参考になったことと思います。今後も作り手さんと利用者の交流を企画していきたいと思ひます。



木工室では、木育プログラム『木で編む 和綿のコースター』を開催しました（左写真）。（一社）岐阜県教育文化財団が取り組む『tomoni つながる和綿プロジェクト』とのコラボレーションです。同プロジェクトは、日本の風土と日本人の肌になじむ和綿を育て、糸にし、布にしていく過程をアート・デザイン・ビジネス・福祉・農業の分野でつなぎ、新たな出会いと仕事の場が生まれる場づくりを目指しています。そこに今回、ぎふ木育が加わりました。

参加者はスギの割り箸を編み棒に加工し、ヒノキの板に固定した縦糸の間を和綿の糸で縫ってコースターを作りました。割り箸も綿も、普段自分たちが使っているものは、だれがどこでどのように作っているんだろう、そんなことを考えるきっかけとなるプログラムでした。

初日の15時から、名誉館長である竹下景子さんによる朗読会を開催しました。一般申し込みの親子（または祖父母と孫）30名に加え、県内の大学で保育・幼児教育を学ぶ学生などを招待しました。朗読会の前には、アイスブレイクとして、普段から木育ひろばで来館者の遊びを見守っている「さとやまさん」によるおはなし組み木『おおきなかぶ』を来館者と一緒に行いました。



今回、竹下名誉館長に朗読していただいたのは、童話作品『ニングルの森』（著者：倉本聰）で、7月の1周年感謝祭のときに朗読していただいた続きです。北海道の原生林の荘厳な命の営みをニングルという小さな小さな先住民族の目線で描かれた物語で、竹下名誉館長は声色や間の取り方を変えながら、まるでニングルがそこにいるかのように朗読されました。赤ちゃんを抱っこしながら聞いていたお母さんも、物語に引き込まれるような表情で聴き入っていました。

朗読の後には、竹下名誉館長による「読み聞かせのコツ」ミニ講座を開催しました。参加者からは、「おすすめの絵本は？」「絵本に入り込んでついつい書いてない表現を加えてしまうのですがよいでしょうか？」などの具体的な質問のほか、「読み手」が存在する意味とは？という学問的な視点の質問もあり、ひとつひとつ丁寧にご自身のお考えをお答えいただきました。



朗読会の様子は、**ぎふ木遊館 YouTube チャンネル**で公開していますので、ご興味のある方はぜひご覧ください。



ぎふ木遊館  
YouTube チャンネル  
二次元コード

2日目の木工室では、糸のこで「ヒノキの木琴づくり」。自由なデザインで切ってみてどんな音が鳴るのかお楽しみ！木育ひろばでは、親子向けに「おはなしおもちゃ劇場」。おもちゃに加えて、手遊びやわらべ歌を使った参加型の劇場でした。

また、下呂市出身のギター奏者である伊藤智美さんによる生ライブを開催しました。木に囲まれた空間の中で、懐かしい里山の景色を思い起こさせる優しいメロディに皆さんうっとり。最後には、子どもたちがお気に入りの積み木を手に持ち、ギターと歌に合わせてカチカチ打ち鳴らしてセッション。参加者もスタッフも楽しむことができたオータムフェスタとなりました。





やがてみんなの森になる

# morinos

## プログラム紹介！！

岐阜県立森林文化アカデミー内にある森林総合教育センター（愛称morinos）で実施しているプログラムについてご紹介します！

今回は、令和3年10月20日（水）に開催した、森林文化アカデミー創立20年記念及び森林総合教育センター開所1周年記念式典においてお披露目した、企業と連携した取り組みです。

### はだしの森林体験

当アカデミーと清水建設株式会社が連携し、森林資源・空間を活かした新しい産業の創出、ウェルビーイング\*の向上など社会課題の解決に貢献し、森も人も持続可能な社会の実現に寄与するため、「はだしの森林体験」の取組みを進めています。

※ウェルビーイング：持続的な幸福を意味する。1946年世界保健機関（WHO）が初めて使用したが、近年、この「ウェルビーイング」が重要視されるようになってきている。

今回、「はだしのトレイル」のスタート・ゴール地点となる「はだしの広場」を清水建設株式会社に整備していただき、式典でお披露目しました。

はだしの広場では、芝生の他、砂、ヒノキの皮・球果、松の葉、枯れ枝など気持ちいいものから痛いものまで、色々なものが敷かれ、そこをはだして歩きます。

はだしになることで、足の裏の感覚が鋭くなり、普段よりも丁寧に周囲を観察することから、いつもより身近に森を体感できます。

また、一般的なはだしの効果として、リラックス効果や足裏のツボを押す効果、姿勢改善など、健康への効果があるといわれています。

morinosを訪れる機会がありましたら、是非「はだしのトレイル」を体験してみてください。



はだしの広場 テーパカット



はだしの広場

### morino de van (森の出番) プロジェクト

当アカデミーと住友林業株式会社は、森と人との「共生」が実現する新たな社会の創造に寄与するため、都市部や小学校等でも森の体験ができるプログラムを共同開発し、プログラムの企画・実施や人材育成の取組みを進めています。

今回、県内各地で森林教育を実施するための車両（ヴァルトカー\*）を住友林業株式会社から寄附いただきました。

今後、morinosを拠点とし、ヴァルトカーをフル活用して県内各地へ出向き様々な森林教育プログラムをお届けします。

※ヴァルトカー：ドイツ バーデン・ヴュルテンベルク州の森林教育施設「ハウス・デス・ヴァルデス」を拠点に、各地を巡回し森林教育を行うための車両の名称



ヴァルトカーのお披露目



プログラム道具



morino de van (森の出番) で行うプログラムのイメージ



プログラム例 (森の色鉛筆)

### 【森を体験するプログラム(例)】

- ① 森の恵みを活用したものづくり 「森の色鉛筆づくり」、「森の造幣局（木のコインづくり）」、「森の生き物づくり」
- ② 自然を五感で感じる体験 「落ち葉のふとん」、「ミクロの森へ」、「森の燻製づくり」
- ③ 自然や文化の体験から知る学び 「薪割りづくり」、「光合成ゲーム」、「しめ縄づくり」



こうした体験はmorinosのHPで開催をお知らせしています。新型コロナウイルス感染防止対策の状況により実施しない場合もあります。

興味を持ってくださった方は、morinosのホームページ、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開所時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube  
「morinosチャンネル」

シリーズ

# 「住民主体の創意工夫ある

# 森づくり・川づくり活動」

県では清流の国ぎふ地域活動支援事業(清流の国ぎふ森林・環境税活用事業)により、各種団体等が自ら企画・立案・実行する創意工夫ある森づくりや川づくり活動を支援しています。こうした団体の活動内容について、連載でご紹介します。

## 特定非営利活動法人 e-plus 生涯学習研究所

### ●設立年

・平成17年

### ●設立目的

・市民に対して生涯学習、環境学習に関する事業を行い、持続可能な社会の形成に寄与することを目的としています。

### ●主な活動分野・活動内容

・環境教育・環境学習

### ●令和3年度地域活動支援事業名

・地域の川から～海洋プラスチックを考えたよ

### ●事業内容

・海洋プラスチックが地球規模の環境問題と知りSDGsの視点で解決策を考える。小中学校で体験や実験、アクティビティを用い汎用学習プログラムの構築を行う。海のない岐阜県からもプラスチックゴミの8割は川を通じて海に流れ込む。海を守るため自分たちにできる実践を考える。海洋プラスチックを少なくするには国際的な協力が必要。SDGsを知り自分たちの考えや活動を周りに広めよう。



「川を汚したのは誰」アクティビティ  
岐阜市内小学校にて



水生生物調査  
河川環境楽園 木曽川水園  
ジャブジャブの河原にて

### ●その他

私達の団体は、環境カウンセラーが中心になり、県内で気候変動・エネルギー・3R・水環境をテーマに環境教育を行っています。16年前の設立当初よりNPOの目的は持続可能な社会の形成であり、現在はSDGsの達成に向けた取組みを環境教育に取り入れていきます。学校で環境学習を始めると子ども達の多くが地域のことや身近な生物のことも知らないことに気づきました。地球の環境問題を学ぶ前に「自分の地域を知ってほしい、愛着を持ってほしい」と思い、この事業では身近な環境と地球規模の環境問題のつながりを知り、自分事と気づく授業を心がけています。  
海洋プラスチックの授業は体験と知識を結びつけられるように環境教育プロジェクトWILD:WETのアクティビティを活用し楽しみながら学ぶプログラムを組んでいます。

問い合わせ先

e-plus生涯学習研究所 小林  
TEL:0568124516442

## NPO法人美濃白川どんぐり会

### ●設立年

・平成24年

### ●設立目的

・落葉樹の植樹、落葉樹林の育成を中心活動とした公益的機能を重視した森林づくり

### ●主な活動分野・活動内容

・清流保全活動及び環境学習の推進

### ●令和3年度地域活動支援事業名

・落葉樹林植樹・育成、河川環境保全事業

### ●事業内容

・植林地の下刈り8月～12月  
・植林地の整地10月～2月  
・広葉樹の植樹作業11月～2月  
・子どもの環境体験事業  
・河川浄化及びホタル復活事業  
・シイタケ原木用苗木の育成事業  
・ハナノキの保護活動

### ●事業目標や事業効果

・広葉樹林の育成により森林荒廃を防ぎ安定した水源が確保される  
・建築用材、シイタケ栽培等への木材の供給による産業の活性化  
・自然を愛し自然を守ろうとする子どもの育成

### ●実施内容

・毎年500本ほどの広葉樹を植樹  
・名古屋や岐阜市の環境団体と協力して親子植樹活動を実施  
・小学校の環境教育の指導  
・ホタル復活事業を実施

### ●今年度事業実施状況

・下刈りと植樹、小学校の環境学習支援のみを実施

### ●その他

・活動に協力して下刈り、植樹に参加して下さる方を募集しています。

問い合わせ先

美濃白川どんぐり会事務局  
TEL:057417211813



親子植樹活動の様子



# 住ま居るグループデイサービス (通常規模型通所介護)

土岐市下石町910-1



施設全景 (撮影：鈴木研一)

## 施設概要

事業年度	令和元年度
事業主体	株式会社 YUKA IGO
構造 延床面積	木造1階建 499.65㎡
施設用途	老人デイサービス
木材使用量 使用樹種	117.19㎡ スギ(県産材99.5%)
全体事業費	71,813千円
助成額	30,000千円
設計者	株式会社ほとり建築事務所 + Uo.A
施工業者	澤崎建設株式会社
工期	令和元年8月～令和2年3月

談話コーナー (撮影：鈴木研一)

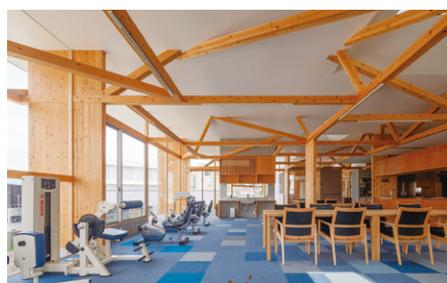


## 施設の様子

岐阜県土岐市下石町のデイサービス施設です。角材を縦に並べて壁パネルをつくる「縦ログ構法」を用いることで、壁面の多くをガラス張りにすることができ、館内はとても明るくなっています。

施設内は、利用者がのびのびと過ごし、各種プログラムを実施できるよう、仕切りの少ない見渡せる空間としたため、縦ログパネルも存在が際立っています。

縦ログパネルの面とトラス梁により、利用者が広く感じ過ぎず落ち着ける適度なスケール感が与えられています。



リハビリコーナー (撮影：鈴木研一)



ダイニング (撮影：鈴木研一)

## ここに注目!!

建築家の登竜門的な歴史ある建築賞SD Review2019に入選したプロジェクトです。縦ログ構法とハイブリットレシプロカルラチスと呼ばれる変則トラス構造による新技術を用いています。

## 利用者の様子

開放的なワンルームの室内でありながら、緩やかに区切られたスペースを使って、様々な活動を楽しんでいます。

■問い合わせ先  
 (株)YUKA IGO  
 TEL 0572-45-2122

●森林獣害

日本は言わずと知れた森林大国です。森林面積はおよそ2,500万ha、国土面積の約2/3が森林という、世界でもトップクラスの森林率を誇ります。日常生活の中でも山や森が目に入る機会が多いのではないのでしょうか。このように自然が豊かな心象がありますが、森の中へ足を踏み入れてみると、外から見ていた風景とは一転して健全とは言えない光景が広がっていることもしばしば。様々な原因がありますが、



林道沿いで発見した「ニホンジカ」その傍らには樹皮を剥がれたヒノキが目立ちます。生息数が過密な場所では、下草が生えずに木が育たない場所もあります。

中でも近年問題となっているのが「野生動物による被害」です。令和元年度には年間で約4,900haが何かしらの野生動物の被害にあっているという統計データが林野庁から報告されています。そして、その被害面積のおよそ70%がニホンジカ由来と言われています。

●対策としての捕獲

森林被害の大きな要因であるニホンジカを全国的に捕獲して適正な頭数に制御しようという取り組みが全国的に行われています。なお、狩猟免許所持者の動向としては、銃猟免許の所持者は高齢化とともに年々減少傾向にありますが、わな猟免許の所持者数はここ10年ほどで倍増しています。

私自身も、所属していた林業事業体の所有するヒノキ林がシカの被害にあった事がキッカケでわな猟免許を取得し、くくり罠でニホンジカの捕獲を行いました。ところが、自然相手・生き物相手なのでなかなか思い通りには

●錯誤捕獲を避けるためのアイテム

わなで捕獲をするにあたり、最も困るのは錯誤捕獲です。捕獲予定でない獣(カモシカ等)をわなで捕獲してしまった場合、放獣しなくてはなりません。放獣の際は怪我をさせないように、自身も怪我をしないように細心の注意を払う必要があります。極力避けて通りた現象です。



獣道は複数の生き物が時間帯をずらして利用している。通常は足跡などの痕跡から生き物を特定するが、時間帯や行動を映像で確認できるのがトレイルカメラの最大の魅力。

なりません。「この場所なら明日にはかかるだろうー」と思っていると、1週間たってもかからない。「試しにかけてみるか」と思って設置すると、その日のうちに捕獲できてしまう。そんな事の繰り返しの日々でした。

ているのかを知ることができません。そして、想定以外の動物が映っていた場合、心と道具の準備を事前にしておくことで、より安全で確実な捕獲を行うことができるのです。確実な捕獲とともに、安全を確保する事こそ、持続的に狩猟を行っていく上で大切なことと考えています。トレイルカメラは1万円前後で防水機能を備えたものが販売されています。※設置する際には、わな同様に土地所有者の許可を得るなどのマナーを忘れずに。

わな猟免許取ったけど、技術を教えてもらえない師匠に巡り合えない、仲間が欲しい。そんな人は一緒に活動しませんか？健全な森林を維持するためにも若手の猟師仲間募集中です！

新米猟師にオススメわな猟×○○○  
調査とリスク管理を兼ねて

岐阜県立森林文化アカデミー 講師 ●新津 裕

## 『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

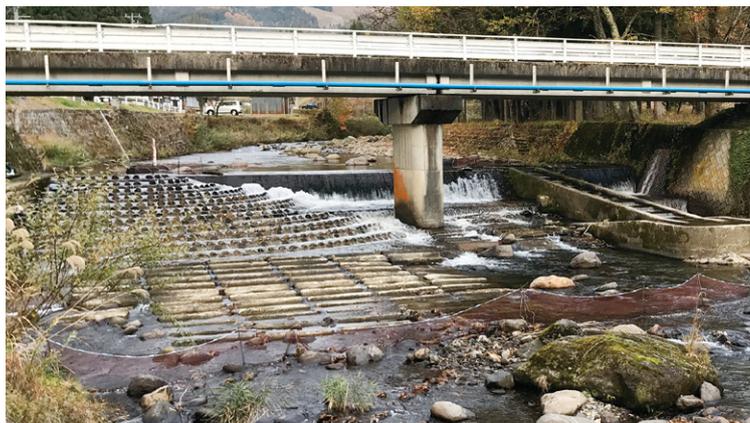
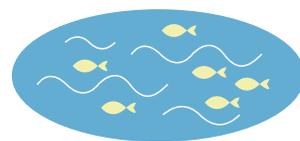
## 河川魚道の機能回復事業

## 【事業目的】

県では、魚類生息環境の維持・改善を推進するため、魚道（魚類等が堰堤を行き来するための通り道）の整備により、堰堤等を挟んで分断された上下流の水生物の移動経路を確保し、効果的な資源増殖を促進してきました。本事業では、魚道の状態の把握と適切な維持管理によって、河川の連続性の確保を図り、魚がすみやすい環境の創出を図ります。

## 【事業内容】

- 県民協働で年1回程度、農業用取水堰堤に設置されている魚道の点検を行い、機能が低下していると判断された魚道内における堆積土砂の除去や改修工事等を行い、魚道の機能回復を行っています。
- 機能回復を行った魚道において、魚類の遡上調査を実施し、改善効果の検証を行っています。  
→ 令和2年の調査では、魚道下流に放流した魚の約32%が24時間以内に魚道上流へ遡上したことを確認し、機能回復の効果を確認しました。



機能回復後の魚道  
(前川(郡上市))



遡上状況調査  
魚道の下流に魚を放流



遡上状況調査  
魚道の上流に遡上した魚を採捕  
(採捕した魚は再放流)



遡上状況調査  
魚道の上流に遡上した魚を確認



事務所にて(左:矢野さん、右:山口さん)

# 新規参入した若い力!!

(株)山田林業

矢野 宏樹さん・山口 穂奈美さん

令和3年度(株)山田林業に新規採用された矢野宏樹さん(23才)と山口穂奈美さん(24才)をご紹介します。山田輝幸社長によると、「現在、森林技術者の若がいり、育成する時期と考えており、新規採用にも積極的に取り組んでいる」とのことです。

### Q 山田林業に就職したきっかけは?

(矢野宏樹さん)  
滋賀県彦根市出身で大学では、生物学、環境学を専攻し、自然を相手にした仕事でした。リクナビ(民間企業が提供する新卒採用サイト)で何かある候補の中から山田林業を選びました。県内では希望する会社が見つからず、隣の県という近さと自宅を出て独り立ちしたい気持ちが決めた手になりました。

(山口穂奈美さん)  
愛知県豊田市出身で環境系の大学に進学し、同じくリクナビで山田林業を知りました。大学まで自宅から通っていましたが、一度は外に出たい気持ちがあり、業務内容の説明、実際の伐倒作業なども見学して、ここに決めました。

お二人とも自然を相手にした現場の仕事を希望し、伐倒作業などに従事することが前提でした。危険が伴う仕事なので親からは全面的な賛成が得られず、苦労されたようです。内定後は会社の方針に従って、チェーンソーの安全教育を受講するなど事前準備をしたそうです。

### Q 日々の業務内容は?

入社当初の4月は会社有林にて、山田利幸専務(岐阜県林業士)を講師に伐倒作業などを徹底して学びました。細い立木から徐々に太い立木へと、丁寧に教えていただきました。チェーンソーの手入れもそれぞれ自分で行っていきます。



会社有林にて(左:山口さん、右:矢野さん)  
注)この日は伐採作業を行っていません。

現在二人は別々の場所に行くことが多くなり、ともに公共工事、開発などの支障木の伐採作業に従事しています。

天然生林の現場が多いのですが、人工林のヒノキを伐採することもあります。やはりまだまだ力不足で班のバランスを考えると我々は別々の現場になりますね(矢野さん)。

私にはトイレのこともあって、今の現場も多治見市内のコンビニが近くにある場所です。配慮していただき、たいへん助かっています。最初は体力的にも厳しく、つらい思いもしましたが、徐々に慣れてきました(山口さん)。

### Q 林業就業移住支援金を申請したそうですが、その感想は?

会社の立て替えにより4月に支給していただいたので、物入りの時期にたいへん助かりました。その際、5年間は辛抱しないとそっくり返してもらおうことになるという説明も受けましたが、今のところ、そんな心配はいりません、大丈夫です!(矢野さん、山口さん)

### Q 林業グループ(陶都林材クラブ)に加入して期待するところは?

山田社長が会長で、最近ではコロナ禍で活動(管内3市の行事に出展、ヒノキの丸太切り、なめこの菌打ち体験)ができていないと聞いていますが、興味があるので、参加してみたいです。他にも無理なく、様々な現場、森林を見て学ぶ機会があると良いですね(矢野さん、山口さん)。

### Q 今後の抱負、活躍したい分野は?

多くの経験を積み、大型免許をはじめ資格を取り、重機の操作技術も身に付け、オールマイティに現場の仕事ができるようになります。11月20日開催の「岐阜県伐木安全技术評価会」に、山田林業からは先輩と自分の二人が参加するので、現在の力量を試してみたいです(矢野さん)。

私も伐倒、重機の操作技術などを身に付け、間伐などの森林整備の仕事もしてみたいと考えています。今後もこの仕事を続け、女性の後輩が増えるとうれしいですね(山口さん)。

### 取材を終えて

今年4月の仕事始めの日に山田社長に連れられて、お二人があいさつにお越しくださった時に「地域の人」で紹介することを決めました。以来、気になって様子を伺うと現場で頑張っているとお二人と再会することができました。今後のご活躍を期待します。

【東濃農林事務所  
林業普及指導員 大重隆太郎】

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0572-123-1111 内線290

東濃農林事務所まで

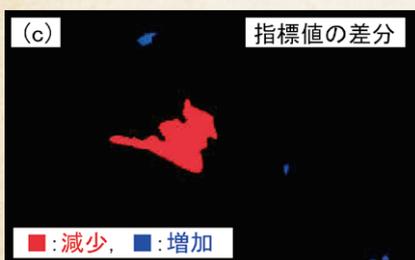


図1 伐採の前後の画像(a, b)から得た植生の指標値の差分の例(皆伐再造林事業地)

市町村や県農林事務所における森林管理業務は、伐採届の管理や災害の確認等多岐にわたります。広範囲の森林を対象に、人為や災害による変化を、より早期に把握するためには、現地確認を支援する仕組みが必要です。

そこで、任意の間隔の衛星画像から、伐採等による森林の変化を、広域的に抽出する手法を検討しました。



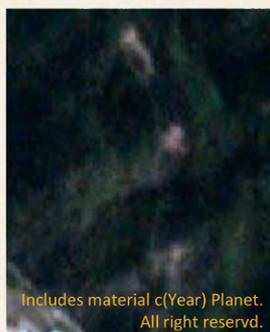
**変化を抽出する取り組み**

使用した衛星画像は、毎日撮影が行われているPlanet社のDove衛星の画像(地上解像度3.7~3.0m)です。画像のデータを解析すると、植物の量や活力を表す指標値(正規化植生指数)を算出できます。この指標値を任意の二時期の画像上で算出して比較し、値が減った部分を抽出すると、伐採や土砂崩壊によって植生が減った可能性のある箇所を抽出することができます(図1)。

抽出は県内5市町村の一部地域を

## 衛星画像を使って伐採等の森林の変化を抽出する取り組み

岐阜県森林研究所 ● 久田 善純



(a) 衛星画像(伐採前)  
(2020年5月初旬)



(b) 衛星画像(伐採後)  
(2020年6月初旬)



(c) 空中写真(伐採前)  
(2019年6月頃)



(d) 伐採箇所の遠景  
(電線の保安伐採)

図2 伐採箇所を抽出した例(伐採前:a, 伐採後:b)、並びに、同範囲の空中写真(ふおれナビ)(c)と現地の遠景写真(d)

※ 図(b)中の赤枠:伐採部分として抽出した範囲

対象に行いました。比較作業に適した画像(雲の少ない日)の取得数は天候に大きく左右されました。また、山の影となる部分では抽出精度が低くなるため、影が少ない時刻に撮影した画像を取得する必要があります。毎日撮影があっても、比較できる二時期の間隔に制限があることが分かりました。また、抽出した箇所数や形状の精度は、比較作業時の設定(閾値)に左右され、誤抽出(雲の影等)は手作業で除く必要がありました。

### 市町村・農林事務所での試行

定期的な皆伐や土砂崩壊の箇所の抽出を行い、その結果を該当地域の

市町村、農林事務所に提示したところ、図2の(a)(b)に示す例のように、森林が変化した箇所や範囲を把握しやすくなるため、伐採届の実行箇所調査や被害箇所把握の参考として使えるとの感想をいただきました。一方、抽出した形状(伐採や土砂崩壊により森林が変化した境界の部分)(図2(b)中の赤枠の線のこと)の精度が悪い箇所がいくつか見つかったり、精度や解像度をもっと良くしてほしいという意見もありました。

いただきました様々な意見、提言を踏まえ、今後も抽出の手順や精度の改良に取り組んでいきます。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-331-2585

森林研究所まで



# 第58回岐阜県林業経営コンクール 最優秀表彰者について



加茂郡白川町黒川  
加藤 一昭氏

■森林文化アカデミー  
森林技術開発・支援センター 技術普及係

藤井 敦

## はじめに

岐阜県では、毎年、

「森林の適正な管理並びに林業の技術・経営の改善に努め、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している森林の管理経営体を表彰する」という趣旨のもと岐阜県林業経営コンクールを開催しています。

主な参加資格は、3 ha以上の森林を管理・経営し地域貢献している者としており、個人、法人、団体等に区分して表彰しています。

今回、第58回岐阜県林業経営コンクール、個人の部で最優秀となった「加藤 一昭氏」の林業経営について紹介させて頂きます。

(ちなみに、森林のたより11月号表紙に、岐阜県緑化功労者表彰者と岐阜県林業経営コンクール表彰者の写真が掲載されています。)

## 加藤氏の林業経営概要

### ● 所有森林の特徴

- 所有林面積 146 ha
- 人工林率68% (内ヒノキ約8割、スギ約2割)

### ● 施業方法

- 専業林家として、自ら所有ヒノキ人工林で毎年約5 haの間伐を実施、約300 m<sup>3</sup>を出材。
- 車両系集材を行い、作業道(幅員

2.5 m)は原則軽トラが通れる壊れない道づくりを実施。年間2000 m<sup>3</sup>を用途に開設。

現在の路網密度は約1000 m<sup>3</sup>/ha。



▲所有林写真

### ● 生産目標

- 無節東濃ヒノキ優良柱材生産 (昭和52年から15年かけて搬出可能な林分を4 m<sup>3</sup>~5 m<sup>3</sup>枝打ち。末口直径で16 cmから18 cmの3 m無節柱材を生産)



▲枝打ち材写真

## ● 林業技術の創意工夫

- 東濃ヒノキ無節柱材生産を目標とし若齢級から枝打ちを実施。
- 昭和55年頃から先進的に作業道を開設し、車両系集材を実施。
- 作業道は、マウンドを作り排水に注意しながら工事・活用。



▲作業道写真

## ● 後継者

- 自らが植栽し手入れたヒノキ(45年生)の利用間伐を実施。
  - 隣接する森林所有者に呼びかけ、森林経営計画を2団地樹立。
  - 新たな木材の販売先として、土木工事の基礎杭利用を開拓。
- 三男は、学校卒業後に町外で就職していたが、Uターンして1年程一緒に仕事をし、その後に白川町森林組合で森林技術者として勤務し、現在は独立して林業を行っている。
- 集材作業等で人手が必要な場合は、三男と一緒に仕事をしており、将来は後継ぎとして所有森林を管

理予定。

### ● 地域貢献

・岐阜県林業経営者協会副会長、東濃ヒノキ白川市場協同組合理事長に就き、林業振興に貢献している。

・特に白川市場協同組合理事長として、東濃ヒノキの販売先の開拓、直営林産班の設置等、市場取扱量の増加に貢献している。  
・林業災害防止協会関分会役員として林業災害防止に貢献している。

・白川町林業担い手推進協議会を立ち上げ、若手林業従事者の育成に尽力している。

・白川町猟友会長として、農林業被害の軽減を図るため有害鳥駆除等を実施している。

### ● その他

・現在のご自宅は、所有山林から切り出した木材を使用し建てられており、特に無節の大黒柱は素晴らしい材でした。



▲無節大黒柱写真

### ● 評価結果

・加藤氏の経営内容を審査した結果、生産目標の明確性(無節柱材生産)、計画性のある施策(森林経営計画の2団地樹立)、林業技術の創意工夫(先進的に路網系集材方式の取入れ等)、地域社会の貢献度(様々な場所での役員としての就任)、後継者の育成等で高得点であったことから「最優秀」の評価となりました。今後は、第60回全国林業経営推奨行事に推薦する予定です。

### ● 今後の取組み

岐阜県では、引き続き林業経営や地域貢献に尽力されている森林所有者や団体を支援するため、岐阜県林業経営コンクールを継続します。コンクール参加について自薦他薦は問いませんが、頑張っている森林所有者や団体に心当たりがありましたら、是非森林文化アカデミーまで連絡をお願いします。



● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-1351-2533

森林文化アカデミー

森林技術開発支援センター

技術普及係 藤井 まで

### スマート林業通信 19

## ぎふ森林情報WebMAPを公開

森林の調査、資源管理の省力化、効率化を図るためには、森林内の情報をデジタルで把握し、森林整備や路網整備の計画に活用していくことが大切です。

すでに市町村、林業事業者等へは文書で通知していますが、林業の現場においてもスマートフォンやタブレットで地形、傾斜、地質等を確認できるWebMAPを森林文化アカデミーと森林研究所が作成し、公開しました。

WebMAPは、CS立体図(※1)、傾斜区分図(※2)、地形図、航空写真、地質図、断面図、崩壊跡地形分布図を重ね合わせて表示や、面積、縦断面などの計測ができ、利用用途に応じて活用が可能です。また順次森林情報を地図化し追加していきます。

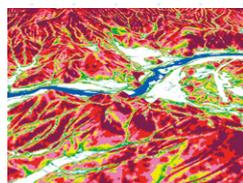
ぜひ業務で、林業の現場でご利用ください。

(※1)CS立体図とは、標高、傾斜、凹凸を異なる色調で彩色して立体表現した地形表現図です。視覚的にわかりやすく地形の判読が可能です。  
(※2) 傾斜区分図とは、傾斜区分ご

とに色分けした地図です。自分の知りたい場所の傾斜を素早く確認することができます。



CS立体図



傾斜区分図

### ◆ WebMAPのアドレス

https://www.forest.rd.pref.gifu.jp/shiyou/sirinwebmap.html

WebMAPはこちらからご覧いただけます。



(サンプル)

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-1351-2533

森林文化アカデミー

スマート林業推進係まで



# こんなところにも国有林3

以前、金華山や郡上市の東殿山を紹介しましたが、東濃森林管理署管内にもいくつか特徴のある国有林があります。今回はそのうちの3箇所を紹介します。

## ① 恵那市の岩村国有林

岩村国有林に隣接する岐阜県指定史跡「岩村城跡」(恵那市岩村町)は、日本三大山城の一つに数えられ立派な城壁が残っています。

岩村城は、江戸諸藩の府城の中で最も高いところに築かれ、高低差180mの地形を巧みに利用した城で、明治の廃城令により廃城されるまで連続と存続しました。

標高717mの岩村城址までは、岩村歴史資料館の駐車場から石畳の整備された山道を約1km歩きます。途中いくつかの門の跡や六段壁という石垣を見ることが出来ます。

有名な話では、戦国時代城主を亡くし未亡人となった夫人が、自らをかえりみず、領民や家臣を守った「女城主」のいい伝えがあります。

また、旧家が残る城下町を散策するのもおすすめです。



▲岩村城の六段壁

## ② 瑞浪市の小里国有林

瑞浪市小里の小里国有林には岐阜県指定史跡「小里城跡」があります。小里城は1532年頃に小里出羽守光正が築城し、1572年には織田信長配下の城となりました。

現在は城址となっていますが、中

世から近世初頭の城郭構造を良好に残しています。

天守跡まで約700mの山道の途中には御殿場跡などの史跡が残り、所々眺望が開け標高400mの頂上には本丸跡などがあります。

登城口は、瑞浪市街地から県道20号を恵那市明智方面に向かい約10分のところにある看板が目印です。



▲小里城跡

## ③ 中津川市の湯舟沢国有林

中津川市と長野県阿智村との境にある「富士見台高原」は、一面笹に覆われた美しい高原です。標高1739mの頂上は360度の大パノラマで、恵那山をはじめ多くの日本百名山を望むことができます。神坂峠からは往復約3.5kmの緩やかな登山道で、途中の避難小屋で休憩がで

きます。

また、この地は万葉集の「防人の歌」に代表されるように、東国と西国の境に位置し、東国から北九州に移動する詩歌にも残されています。

アクセスは中津川市街地から神坂方面に行き、市道大谷霧ヶ原線を神坂峠に向かいます。なお、市道の途中から樹齢二五〇年以上の神坂大檜にもアクセス可能です。



▲富士見台高原

## ● 詳しく知りたい方

これら3箇所は、中部森林管理局の「国有林おさんぽマップ」に登録されていますので、詳しく知りたい方は中部森林管理局のホームページをご覧ください。

(東濃森林管理署)

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
1月13日(木)	造林作業の指揮者等 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講習時間：8:50~16:50</li> <li>●申 込：開催日の20日前まで</li> <li>●受講料：11,200円(本代含む)(振込み)</li> <li>●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
1月26日(水)~ 1月27日(木)	リスクアセスメント 担当者 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講習時間 26日(林業) 9:20~16:30 27日(製造業) 9:20~16:30</li> <li>●申 込：開催日の2週間前まで</li> <li>●受講料：12,000円(本代含む)(振込み)</li> <li>●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
2月2日(水)~ 2月4日(金)	伐木・チェーンソー 作業従事者 特別教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講習時間 2日 学科 8:50~17:10 3日 学・実 8:50~12:00 4日 実技 8:30~17:40</li> <li>●申 込：開催日の10日前まで</li> <li>●受講料：23,870円(本代含む)(振込み)</li> <li>●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>	2日(学科)・3日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 4日(実技) 県森連岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
2月9日(水)	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講習時間：学科 9:00~15:20 実技 15:30~16:30</li> <li>●申 込：開催日の10日前まで</li> <li>●受講料：11,550円(本代含む)(振込み)</li> <li>●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
2月15日(火)~ 2月18日(金)	フォークリフト運転 技能講習  受講資格 自動車普通運転 免許所持者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●講習時間 1日目：学科 8:50~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目：実技・試験 8:00~17:30</li> <li>●申 込：開催日の20日前まで</li> <li>●受講料：32,450円(本代含む)(振込み)</li> <li>●定 員：20名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>	(学科)伊自良中央公民館(山県市大門 912-1) (実技)ぎふ農協 旧伊自良共選場(山県市洞田 127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



先日、勤務しているぎふ木遊館の木工ショップ「響STORE」で、丸太や板の端材市が開催されていました。すると、お客さんから「これは何の木?」という問い合わせがあり、ショップの店員さんからお呼びがかかりました。

木口や樹皮を見ながら、「これはヒノキ、これはホオ、こっちはクリ…」と教え、さらに「ここは虫が食った跡」とか「この年輪のところで周囲が間伐されたんじゃないかな」「ここ、顔に見えますよね」とかいう話をすると、「そんなやあ!おもしろ〜い」と買っていかれました。

その端材を何に使いたいのが一番の購入の動機だと思いますが、樹種を知ったり、その木なりの個性を知ると、ぐっと思い入れをもってもらえたり、価値を感じていただけることがあります。そんなとき、うれしくなります。

どこにでもあるような木が、そこにしかない存在であったりもします。我が家の庭には、家を建てた年に植えたヒノキがあります。近所のお宮さんには、僕が子どもの頃から春のお祭りのときに咲き誇ってきたサクラがあります。小学生の娘の通学路には、僕が子どもの頃から実を落としていたクリがあります。木は毎年生長して木部を蓄えていきますが、私たちとの関係性の中で「時間」をも蓄えていくのだと思います。

「Time is Money」でもあり、「Time is Priceless」でもあります。木の価値の伝え方っていういろいろあるなあ。お客さんと話しながら、そんなことが頭の中にもくもくと湧いてくるのでした。

「森林のたより」編集委員 長沼 慶拓

COLUMN

イベント情報

2月1日発行

連載

- 山の歳時記(198)
- 山のおじゃまむし(367)

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(109)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(107)

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

2月号  
予定

# 市況

## 木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所  
単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考	
第1777回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	17,000	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格	
			16~18cm	16,000	—		
		4 m	20~22cm	17,800	—		
			24~28cm	17,500	—		
			30cm以上	16,000	21,800		
	6 m	16~18cm	—	—			
	12月7日	ひのき	3 m	16~18cm	31,500		—
				20cm以上	26,500		—
			4 m	16~22cm	30,000		—
		24~28cm		24,500	—		
30cm以上		23,000		—			
6 m		16~18cm	—	—			
第1359回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	15,000	—		
			24~28cm	15,000	—		
		4 m	30cm以上	14,500	33,000		
	ひのき	3 m	16~18cm	33,000	—		
			20~22cm	29,000	—		
		4 m	24~28cm	28,000	—		
			30cm以上	30,000	45,000		
	12月8日	ひめこ	4 m	24~28cm	14,000	—	
				30cm以上	15,000	26,000	
		くり	4 m	24cm以上	15,000	—	
—				—	—		
第1691回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	17,000	—		
			24~28cm	17,000	18,000		
		4 m	30cm以上元	14,500	18,000		
	ひのき	3 m	16~22cm	32,000	36,000		
			24~28cm	28,500	34,000		
			30cm以上元	27,000	34,000		
		4 m	13cm以下	10,000	—		
			24~28cm	28,000	33,000		
			30cm以上元	27,000	33,000		
	12月9日	まつ	4 m	22~28cm梁	7,000	—	
30cm以上元				9,000	—		

### 【商況】

各需要先は冬季を見据えた在庫確保のため活発な入札。市況全般様子見感がみられるが、今後の動向に留意が必要。スギ4m中目、尺上 元木良材は応札多数。40cm上元木は弱保合。スギ並材3m・4m需要高ではあるが、一服感。3m(16~22cm)直造材が有利。スギ ラミナ向け3m・4m材も保合であるが引き合いは強い。ヒノキ柱材、土台向け継続して保合。直造材が有利。4m中目(24~28cm)も入札旺盛。ヒノキ2.2m元木(26cm上)、直小曲、需要あり。合板向けは需要旺盛で在庫不足。特にスギ、ヒノキは在庫底付き。製紙向けバルブ材、発電向け未利用材ともに在庫不足、需要高。(岐阜)

ヒノキは高止まりで横ばい。スギ並材は売りやすく特に良材に人気が集まり応札旺盛。カラマツは製材用、合板用、土木用で買い気が旺盛。特にヒメコマツ4m・5m(30cm上)が引き合いが強い。飛騨森林管理署出材の広葉樹並材良材ともに応札旺盛。(高値ウダイカンバ、エンジュ、マクルミ、カエデ)(飛騨)

ヒノキ並材3・4m(16~28cm)は、価格は保合。ヒノキ元木 良材 2m・3m・4m(高齢材及び枝打ち材など(特殊材))には、応札旺盛にて保合。スギ並材は売りやすく大径材は売れ行き堅調も単価は保合。全般的に、ヒノキ・スギ並材(16~22cm)は、応札旺盛にて保合。(東濃)

### 製品卸売標準価格 (11月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m <sup>3</sup> 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	100,000	( 3,308)	→
	間柱	3000	105	30	1等	100,000	( 945)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	150,000	( 6,615)	→
		3000	120	120	特等	130,000	( 5,616)	↘
	柱	3000	120	120	(東濃松)特等	—	—	↘
		6000	120	120	特等	180,000	( 15,552)	→
W集 ウッ ド材	柱	3000	105	105	国産5層	167,000	( 5,500)	↗
		3000	120	120	国産5層	163,000	( 7,000)	↗

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

### 外材市況 (11月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	421	米梅	へム(アラスカ産)	385
	コスト(目荒)	396~407	米ひば	ポール	378

日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コストのみ大阪相場))

### チッパー

木材用語一〇×モ

木材破砕機のこと。破砕方式としてはドラム式、ディスク式、シュレッダー式、ハンマー式などがある。伐採現場などで使う移動式も広く使われている。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典

### 木材SCM支援システム

# MOLINK

もりんく

木材SCM支援システム「もりんく」は林野庁の補助事業により開発されました。

#### 無料でPRページが作成可能

事業者情報を登録することで、事業や製品のPRページとしてご利用いただけます。

#### 事業者を検索

取引先を地域や製品等から検索し、コンタクトをとることができます。

#### 便利な業務ツール

木材関連事業者の業務で使える表計算シートや統計資料等をダウンロードできます。

#### コミュニケーション

事業者間の需給情報共有や取引に関するコミュニケーションを掲示板やチャットでできます。

まずは事業者登録(無料)から!

お試し用にゲスト登録もできます。

検索または二次元コードよりアクセスできます。

もりんく  検索 <https://molink.jp>



岐阜県サプライチェーンマネジメント推進フォーラム(事務局:岐阜県木連内)TEL 058-271-9941